

# 小島剛一氏のラズ語辞書刊行を祈念する会へのお誘い

ラズ語は、トルコ共和国北東端とグルジア南西端に主要語域のある被圧迫言語・絶滅危惧言語です。この言語を研究されてきた小島剛一さんが、ラズ語の辞書の刊行を計画しています。辞書の刊行は、絶滅危惧言語を保存するために資することであり、言語学にとって、人類にとって重要であることはもちろんですが、何よりラズ語話者にとって、ラズ語を保存し、持続させていくために、ラズ語の辞書が刊行されることは重要な意味を持つということです。そのために、ラズ語トルコ語日本語を対照した辞書の刊行を実現したいと考えます。どういう性格の辞書が必要かと考えますと、今、必要なのは、言語を保存し、記録するための網羅的に言語を記述する包括した比較的大きな辞書ということになります。

辞書刊行については、日本国内においての需要が、現実的に大きいとは思われず、商業的な出版は困難であるのが現状です。何らかの助成金を求めることが必要であり、その方法は模索すべきと思いますが、それのみに頼らず、ラズ語の辞書を刊行することに賛同下さる方に呼びかけ、個人的な篤志によりまして、刊行を目指したいと思えます。資金としては、網羅的な辞書の場合であれば、500万円程度は必要と試算します。

今回の呼びかけにお答え下さる方がどのくらいいらっしゃるのかということは、まだ分かりません。刊行について支援して下さる賛同者を募りました上で、実際の刊行計画を立案し、その主旨を、賛同者にはかりたいと考えます。

このような計画にご賛同下さいます方は、どうぞご連絡先をお教えいただけましたら、幸いです。一口1万円として、募集する予定です。

小島剛一氏によるラズ語辞書刊行を祈念する会

仮代表 松本 功

ひつじ書房 112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F

03-5319-4916 fax03-5319-4917

toiawase@hituzi.co.jp

詳細が決まり次第、刊行計画書をお送りします。お目通しの上、ご寄付をお願いすることになります。500口のうち、半分以上の見通しが立ちましたところで、刊行をすすめることになると思えます。現在、寄付をして下さる意志のある方を募集しております。また、ご賛同下さる方を増やしていきたいと考えていますので、お知り合いの方にもおすすめて下さいますと幸いです。

今回（2013年7月）、講演会を開催いたしまして、短期間での告知にも関わらず、多くの方のご参加をいただきました。私たちはたいへん意を強くいたしました。今回は、小島氏の訪日に合わせまして急遽開催したのですが、今回の講演会の成功をバネに、来年は、あらかじめ計画し、日本全国で5箇所から10箇所での講演会を開催したいと考えています。

来年には、辞書の刊行に向けて、スタートを切ることのできるご賛同者を集めたいと考えています。したがって、本計画は、賛同者を集めますことに今年と来年をかけまして、詳細を決定し、そののち、実際の寄付をお願いします。そして、実際の編集・印刷の開始は再来年、ラズ人への寄贈は刊行後になります。いささかの長丁場での計画です。

どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

---

私は、小島剛一氏によるラズ語辞書刊行を祈念する会の主旨に賛同します。

日付け

---

お名前

---

ご住所

---

お電話番号

---

メールアドレス

---